

MVCでは、プログラムを3つの要素  ・  ・  に分割します。

それぞれの役割を以下のように決めてWEBアプリ用のテンプレートを作成します。

## M の場合

アプリケーション固有の処理を記述するようにします。よって、  の定義を行って  から呼び出す事になります。

## V の場合

ユーザにとって重要な  を定義します。殆どの記述をクライアント側で処理される  ・  ・  で記述します。また、これらの特性より、職種としての  の介入を容易にする目的があります。

## C の場合

アプリケーション全体を見渡せるような基本的な部分を記述します。主に、  された内容を正しく処理する為の条件や処理の呼び出しを記述します。

```
if ( $_SERVER['REQUEST_METHOD'] == "POST" ) {  
    // *****  
    // 更新  
    // *****  
    $result = check_data();  
    if ( $result == true ) {  
        insert_data();  
        $_POST["name"] = "";  
        $_POST["level"] = "";  
    }  
    else {  
        //print $err_message;  
    }  
}
```

MVC の役割を持つ PHP のファイルを3つ作成し、それぞれ  ・  ・  とします。よって、ブラウザから呼び出されるのはCの役割を持ったファイルになるので、他の二つのファイルはPHPの  で、読み込むことになります。

Cからは、他の二つのファイル以外にもシステム共通の処理を記述したファイルも同様に読み込みますが、これらは基本的に一番最初に読み込む事になります。その次に読み込まれるのがMの部分で、Cの最後にVの部分を読み込みます

Vの部分で動的にPHPで作成する必要がある場合は、PHPの変数埋め込み方法を使用して変数内に必要なクライアント側の記述を構築します。

その変数を **\$dynamic** とすると、その記述は  となります。